

# 「住人十色」な「NEO自治会」 ～笠屋町自治会の第一歩～

関西学院大学社会学部 大岡ゼミ  
ナルオレボリビューション



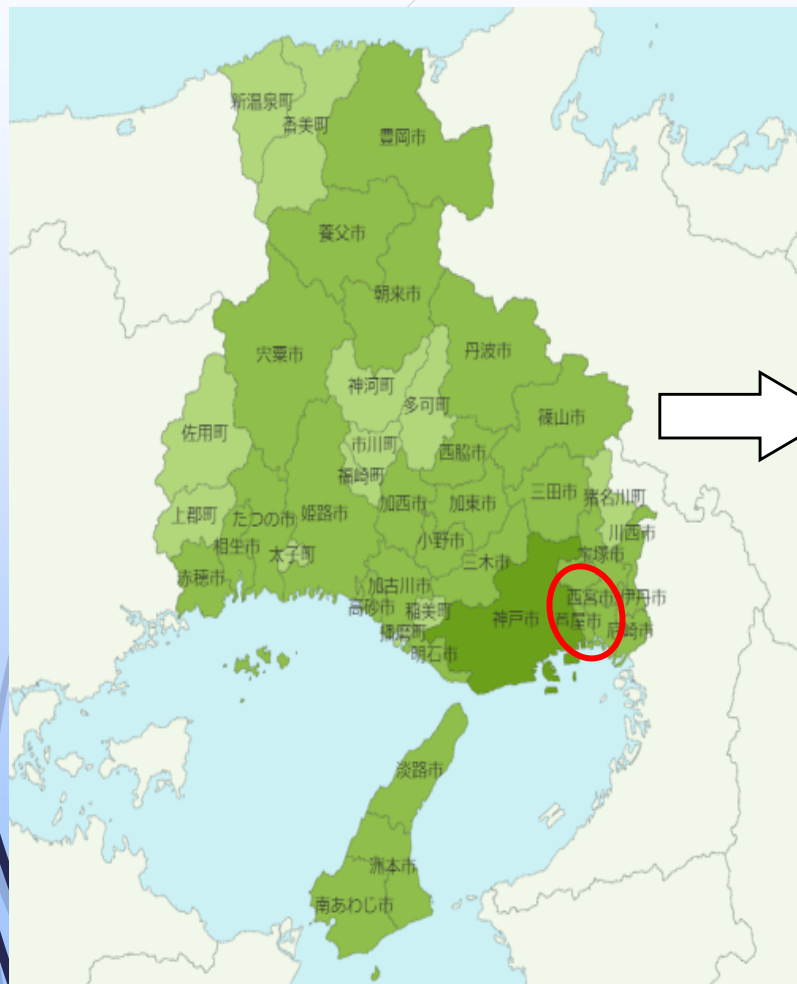
# 活動の目的

活力を失いつつある  
地域コミュニティ力の強化

兵庫県西宮市笠屋町をモデルケースに

➡ 笠屋町自治会に着目！

# 私たちの活動地域



兵庫県における西宮市



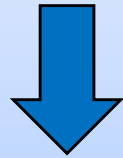
西宮市における鳴尾東地域



鳴尾東地域の地図

# 笠屋町の特徴①

- ・人口 2,734人
- ・高齢化率 23.8%



鳴尾東地域の中で最も**高齢化率**  
**が低い**笠屋町を調査対象とした

鳴尾東地域の町別高齢化率

町名	高齢化率
笠屋町	23.8%
東鳴尾町 一丁目	30.0%
東鳴尾町 二丁目	27.4%
上田東町	26.7%
上田中町	26.8%
上田西町	29.5%

(出典：西宮市 2017年度 町別住民基本台帳)

## 笠屋町の特徴②

笠屋町自治会長へのヒアリング調査により  
自治会加入者、自治会活動への参加者の**ほとんどが高齢者で  
ある**ことが明らかに！



(2019年5月30日 山本泰望氏ヒアリング調査より)

# 私たちが解決したい課題

- ① 笠屋町は高齢化率が6町で最も低い  
若い世代の自治会加入率が低い
- ② 地域イベントは自治会役員である  
高齢者で回しているため負担が大きい



地域活動の担い手に若い世代の住民を巻き込んでいかなければならない！

今までの自治会とは違う新しいNEO自治会を目指す！！

# 私たちの提案

## 「笠屋町子どもまちづくり隊」

笠屋町自治会が参画している既存の地域イベント・行事に  
地域の子どもたちが参加しスタッフとして活躍



子どもを地域活動に巻き込むことで、  
その親世代が地域活動に関心をもつのではないか！

# なぜ「笠屋町子どもまちづくり隊」なのか？

笠屋町の住民に自治会のイメージを調査



「まちかどアンケート」

2019年7月18日に実施  
4時間で53名の方に協力




# なぜ「笠屋町子どもまちづくり隊」なのか？



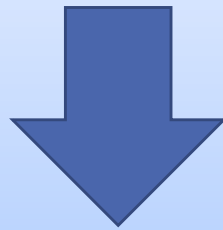
## 「まちの未来トーク in 笠屋」

2019年10月23日に実施  
90分間のワークショップに  
19名が参加



なぜ「笠屋町子どもまちづくり隊」なのか？

笠屋町で様々な活動を企画したが、  
どのイベントも若い世代の参加者はわずか…



**地域活動に若い世代の住民を巻き込むこと  
の難しさを痛感！！**

# なぜ「笠屋町子どもまちづくり隊」なのか？

実際に子育て世代の住民の方に、  
「どんな自治会だったら活動に  
参加したいか」  
などをヒアリングを行った！



「子育て世代の母親へのヒアリング調査」  
2019年10月23日に実施

# なぜ「笠屋町子どもまちづくり隊」なのか？

直接若い世代にアプローチしても、  
地域活動に関心を持ってもらうことは難しい・・・



ワークショップ・ヒアリング調査で得た、  
住民の生の声を参考に

子どもを自治会活動に参画させることで  
子どもを通して子育て世代と自治会がつながれる  
のではないか！

# 笠屋町子どもまちづくり隊

<b>主体</b>	笠屋町子どもまちづくり隊実行委員会 (笠屋町自治会・NPO 法人なごみ)
<b>募集対象</b>	小学生～高校生
<b>募集方法</b>	チラシを掲示板や飲食店に掲示 鳴尾ふぁみり～マルシェなどで告知 子ども会の回覧板で広報 口コミ
<b>任期</b>	1年

# このアイデアが地域にもたらす効果

今までは関係性のなかった

子育て世代と自治会役員がつながる機会ができ

子育て世代が自治会に関心を持つことや

挨拶を交わす関係性になることが期待できる！

# アイデア実現までの流れ

済

2月

- 笠屋町自治会に「笠屋町子どもまちづくり隊」提案

済

3月

- さくらフェスタのお手伝い募集

4月

- さくらフェスタのお手伝い
- 「笠屋町子どもまちづくり隊」結成

6・7月

- 前回イベントの反省会
- 実行委員会

8月

- 鳴尾東ふれあい夏祭りでの出店
- イベント打ち上げ

9・10月

- 前回イベントの反省会
- 実行委員会

11月

- 鳴尾ふあみり～マルシェ
- イベント打ち上げ

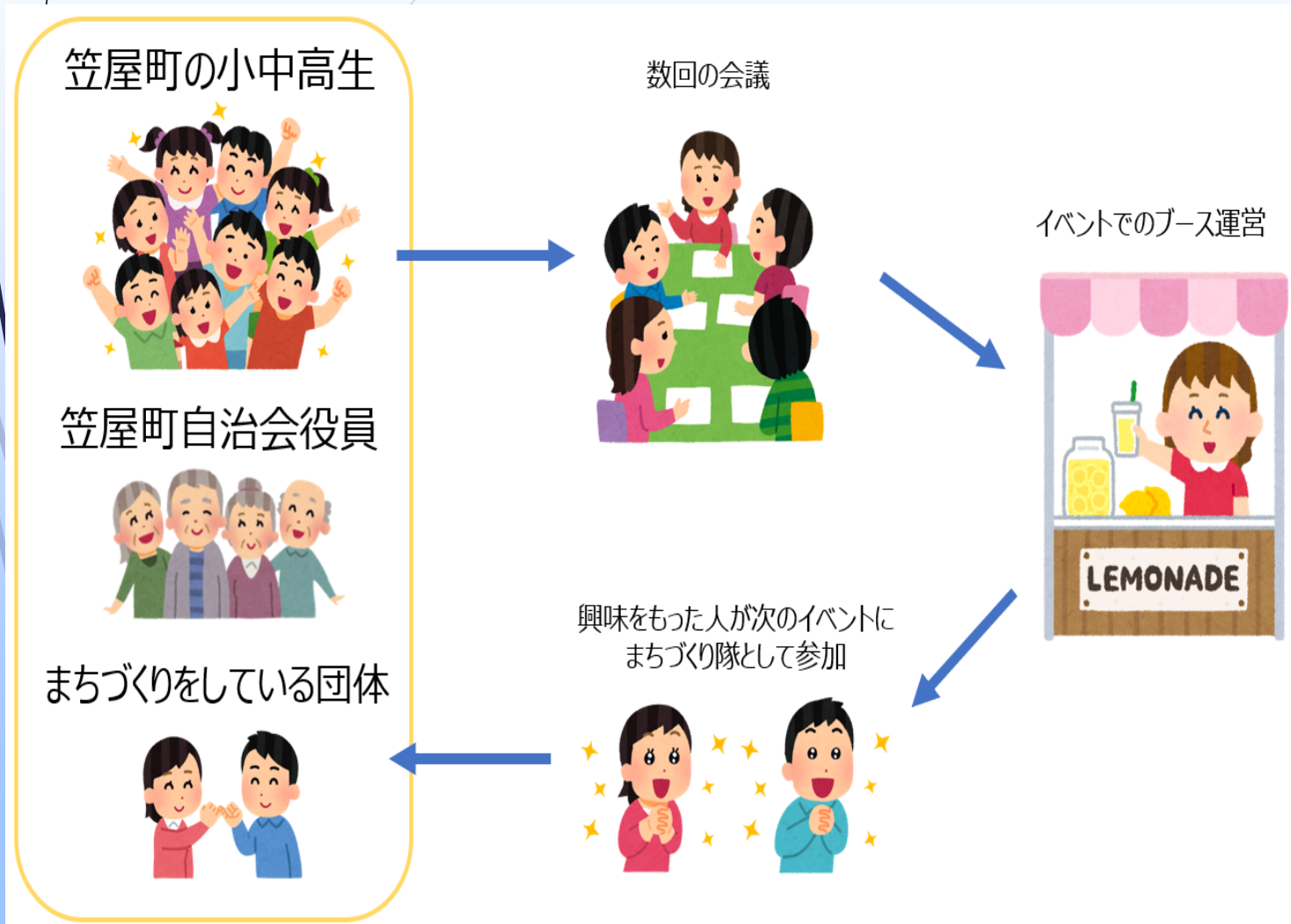
12月

- 子どもまちづくり隊 お疲れさま会

1・2月

- 新年度子どもまちづくり隊募集

# アイデア実現までの流れ



単発ではなく  
サイクルを繰り返すことで  
「笠屋町子どもまちづくり隊」は  
大きくなり  
自治会役員と子ども  
その親のつながりができる！



# 連携状況について



# 学生のサポート状況 / コミュニケーション ～継続的なサポート～

- ・ 月に1回程度の頻度で関西学院大学に訪問
- ・ メーリングリストを作成し、都度の情報連携
- ・ サポート内容
  - ・ 必要なデータの協議、公開のための加工
  - ・ データ加工（可視化）の補助
  - ・ アイデアのブラッシュアップ
- ・ 学生が実施したワークショップの参加・助言
  - ・ 当日職員2名が、オブザーバーとして参加



# 子どもまちづくり隊のメリット

- ①子どもをきっかけとして、親世代の住民が自治会活動や地域活動に関心を持つ
- ②子ども、自治会役員、まちづくりをしている団体のつながりが生まれる
- ③単発ではなく継続的に地域を活性化することができる
- ④子どもが地域イベントの運営に関わるという貴重な経験ができる